

経産省：給湯省エネ事業

エコキュート、おひさまエコキュートの導入で 5万円/台の補助金を受けられます！

『給湯省エネ事業』とは？

高効率給湯機の導入支援を行い、その普及拡大により、「2030年度におけるエネルギー需給の見通し」の達成に寄与することを目的とした事業。

◆補助金の対象給湯設備

	ヒートポンプ給湯機	ハイブリッド給湯器	家庭用燃料電池
特長	ヒートポンプの原理を用い、冷媒の圧縮と膨張のサイクルにより、お湯を作り、お湯を貯湯タンクに蓄えて使用するもの	ヒートポンプ給湯機とガス温水機器を組み合わせたもの。二つの熱源を効率的に用いることで、高効率な給湯が可能。	都市ガスやLPガス等から水素を作り、その水素と空気中の酸素の化学反応により発電するもの。エネルギーを燃やせずに直接利用することで、高い発電効率が見られる。また、発電の際に発生する排熱を回収し、お湯を作るために給湯に利用が可能。
補助額	5万円/台	5万円/台	15万円/台
参考	ヒートポンプ給湯機（エコキュート）  参考：ダイキン	ハイブリッド給湯器  参考：リンナイ	家庭用燃料電池（エネファーム）  参考：アイシン

◆ヒートポンプ給湯機の支援対象

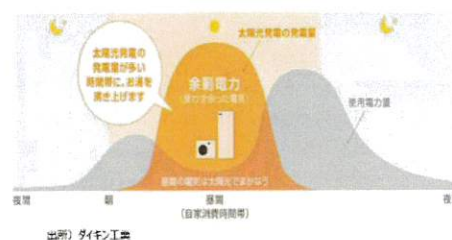
- 省エネ法上のトップランナー制度の対象機器である「エコキュート」
- 上記エコキュートのうち、**2025年度の目標基準値を満たす製品**。
ただし「おひさまエコキュート」は基準に関わらず支援対象

ヒートポンプ給湯機（エコキュート）の省エネ基準

2025年度目標の区分					2025年度 目標基準値
区分名	想定世帯	貯湯缶数	貯湯容量	仕様	
A	少人数	-	-	一般地	3.0
B				寒冷地	2.7
C				一般地	3.1
D				寒冷地	2.7
E	標準	一缶	320L未満	一般地	3.5
F			320L以上 550L未満	寒冷地	2.9
G			550L以上	一般地	3.2
H				寒冷地	2.7
I	多缶	-	-	一般地	3.0
J				寒冷地	2.7

おひさまエコキュート
(太陽光発電の余剰電力を活用したヒートポンプ給湯器)

- ✓ 太陽光発電の電気を活用することで、利用者は、**光熱費の削減**が可能（条件によっては、太陽光パネルの買取りも可能）
- ✓ 電力会社は、おひさまエコキュート専用の電気料金プランを提供。
- ✓ 日本全体では、**カーボンニュートラル**、**電気需要最適化**にも貢献。



◆他の主な補助金との重複申請可否について

- エコキュートの加算を受けない場合に限り、重複申請が可能
(エコキュートは本補助金、それ以外の設備は下記補助金の利用)
- A) こどもエコすまいる支援事業
- B) 住宅エコリフォーム推進事業／住宅・建築物省エネ改修推進事業
- C) 長期優良住宅化リフォーム推進事業
- D) 既存住宅の断熱リフォーム支援事業

こどもエコすまいる支援事業は
本補助金で対象以外の機種も
対象となっています

◆ダイキンエコキュート対象機種（W型）

※2025年度の目標基準値を満たす製品（一般地の場合 角型：APF3.5以上、薄型：APF3.0以上）

X型は2/28公開にて申請予定

B改正

フルオートタイプ
EQX46WFFV(E)(H) / EQX37WFFV(E)(H) /
EQ37WFFHV(E)(H)
EQX46WFTV(E)(H) / EQX37WFTV(E)(H) /

給湯専用らくタイプ
EQ37WHV(E)(H)
おひさまエコキュート
EQ46WFPV/EQ37WFPV

↓対象機種



戸建ての場合2台以内
集合住宅の場合1台以内まで
申請が可能です

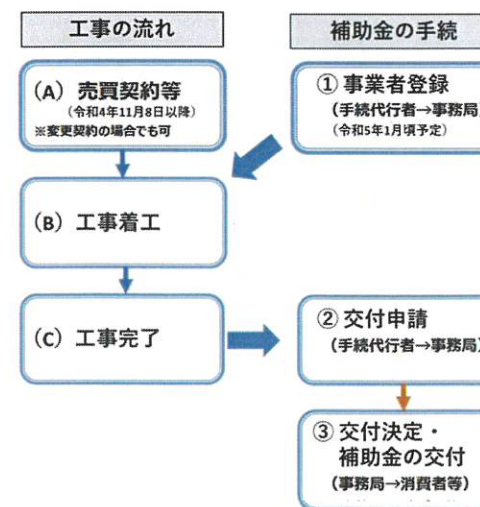
B改正

タンク形態	仕向け地	圧力	機能	現行モデル		2017年目標 基準値	2025年目標 基準値	補助対象		
				機種名（総称）	APF			可否		
角型	一般地	高圧	フルオート 高APF	EQX37WFFV	3.6	3.3	3.5	○		
				EQX46WFFV	3.5			○		
		フルオート	EQ37WFFV	3.3	×					
			EQ46WFFV	3.3	×					
			EQN37EFV	3.3	×					
			EQN46WFFV	3.3	×					
		高圧	オート	EQ37WSV	3.2	3.2		×		
				EQ46WSV	3.2			×		
			給湯専用	EQ37WV	3.2			×		
				EQ46WV	3.2			×		
	標準圧	EQN37WV	3.2	×						
		EQN46WV	3.2	×						
	寒冷地	フルオート	EQ37WFHV	2.9	2.7		2.9	○		
			EQ46WFHV	2.7				×		
			EQ37WHV	2.9		○				
			EQ46WHV	2.7		×				
給湯専用		EQ37WFTV	2.8	2.8	3.0	×				
		EQ46WFTV	2.8			×				
薄型	一般地	高圧	EQX37WFTV			3.0	○			
			EQX46WFTV			3.0	○			
			フルオート おひさま			EQ37WFPV	3.4	3.3	3.5	○
						EQ46WFPV	3.4			○

◆申請の流れ

申請期間：令和5年3月下旬～予算上限に達するまで（遅くとも令和5年12月31日まで）

※申請の締め切りは予算の執行状況に応じて公表します



本事業は、事務局に登録された住宅省エネ支援事業者（建築事業者、販売事業者、施工業者）の申請手続きに基づき補助を行う事業です。住宅取得者やリフォーム工事発注者は、契約を締結した事業者を通じて本補助金の還元を受けます

種別毎の申請者について：

	新築住宅※			既存住宅※		
	注文	分譲	戸建	戸建	共同住宅等	共同住宅等
持家	施主	購入者	家主	家主又は管理組合	家主又は管理組合	家主又は管理組合
賃貸	貸主	貸主	貸主又は借主	貸主又は借主	貸主又は借主	貸主又は借主

※ 新築住宅とは、完成（完了検査済証の発出日）から1年以内で、人の居住の用に供されたことのない住宅をいいます。既存住宅とは新築住宅以外の住宅をいいます。

着工日の考え方について：

新築住宅			既存住宅		
注文	分譲	戸建	戸建	共同住宅等	共同住宅等
建築工事の着手日	住宅の引渡日	給湯器の設置開始日（1台目）			

◆お問い合わせ先

給湯省エネ事業事務局

本事業に関する相談窓口

ホームページ

0570-200-594 ※通話料がかかります。（土日祝含む9:00～17:00対応）
(IP電話等からのお問い合わせ 045-330-1340)
https://kyutou-shoene.meti.go.jp/

↓事務局HP

